

●ALPS SHOW 2016へのご応募の御礼

前号でご案内の「ALPS SHOW 2016」見学ご招待につきまして、多くの株主様からご応募を頂き、厚く御礼申し上げます。

厳正なる抽選により、当選株主様には8月上旬にご招待状を発送させて頂きました。

なお、次号165号(2016年晩秋発行予定)の特集ページでショーの概要をご紹介します。

■当社IRサイトのご案内

アルプス電気 IR



「株主・投資家の皆さまへ」より、IR情報や資料がご覧頂けます。

■株主メモ (2016年3月31日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
基準日	定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日 中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日 その他あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月下旬
公告掲載	電子公告により、当社ホームページ (http://www.alps.com/j/ir/index.html) に掲載します。なお、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京(第一部)証券コード6770
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ <input type="button" value="三菱UFJ信託銀行証券代行部"/> <input type="button" value="検索"/>

株式事務に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行証券代行部 テレホンセンター

お問い合わせ

☎0120-232-711

(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

住所変更等諸届用紙ご請求

☎0120-244-479 (24時間受付)

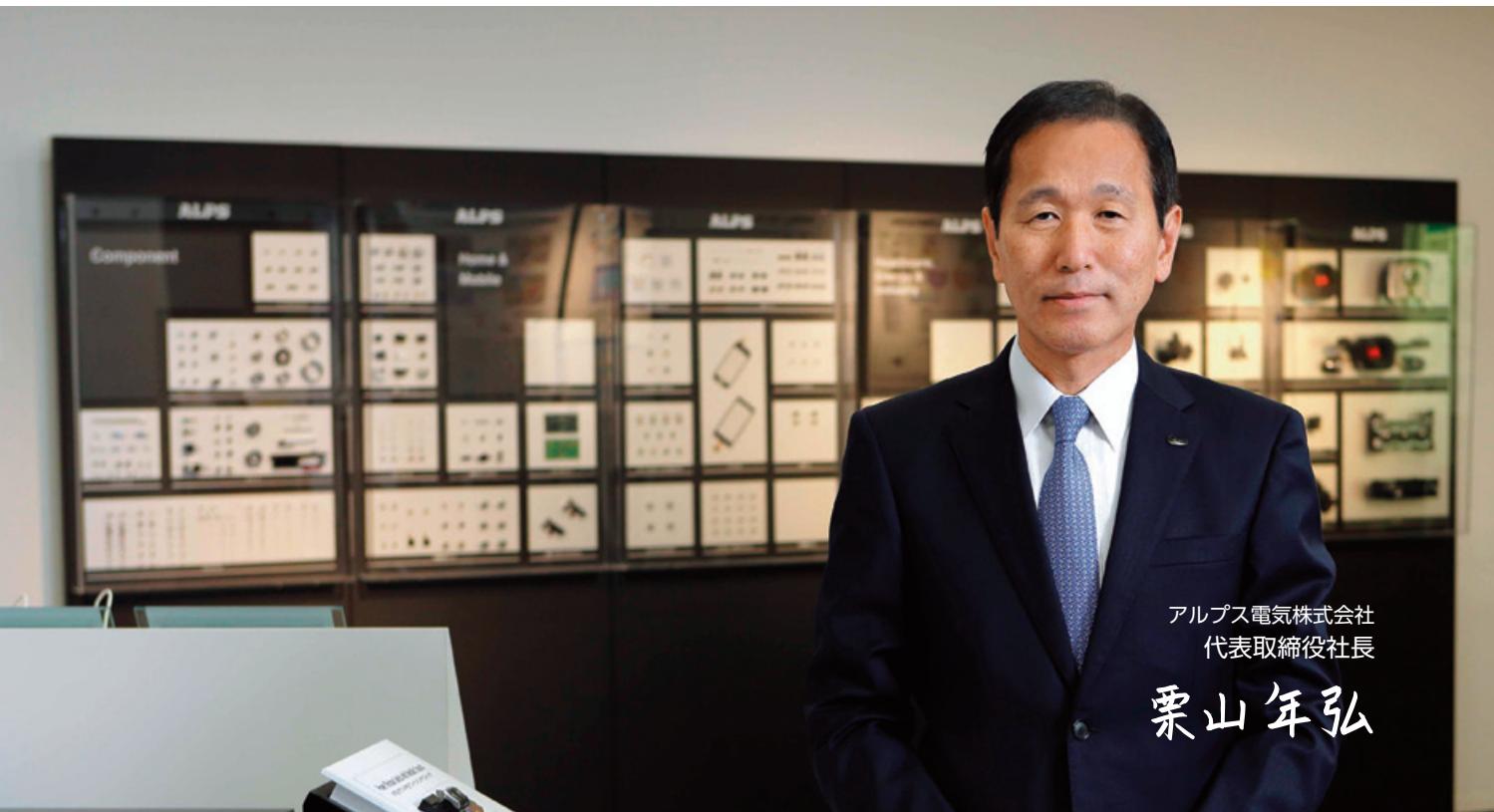
ALPS REPORT

第84期 第1四半期報告

アルプス電気株式会社 2016年9月5日発行

No.164

証券コード: 6770



アルプス電気株式会社
代表取締役社長

栗山年弘

皆様へ

夏の暑さも峠を越え、秋の到来を感じる季節となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当第1四半期の世界経済は、米国が拡大を維持する一方で、欧州では英国のEU離脱問題により、先行き不透明感が高まりました。中国では減速が続き、東南アジア各国も資源価格の下落などが影響し、厳しい状況が続きました。日本でも、個人消費の伸び悩みや為替の円高基調などから、景気は足踏み状態が続きました。

この中で当社では、車載市場向けの売上が堅調に推移しました。モバイル市場のスマートフォン向けは、コンポーネント製品の一部が軟調でしたが、EHII市場はIoT市場での協業など積極的に展開しました。

さて、去る6月23日に第83回定時株主総会を開催し、剰余金、取締役の選任などに加えて、当社の統治機構を監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行することなどを諮り、全ての議案が承認可決されました。

今回、当社が移行した監査等委員会設置会社は、昨年

の改正会社法の施行、及び東京証券取引所が策定したコーポレートガバナンス・コードに対応したものです。具体的には、従来の監査役は取締役会での議決権がありませんでしたが、監査等委員の取締役は議決権を有します。更に、過半数は社外取締役で構成されており、これにより業務を執行する取締役への監査・監督がより強化されることを期待しています。また、監査等委員の「等」という言葉に非常に大きな意味があり、業務執行する取締役の監査・監督だけでなく、役員人事や報酬などについての意見も適切に言えることになり、会社としての統制も上がり執行のスピード感も増していくものと考えています。

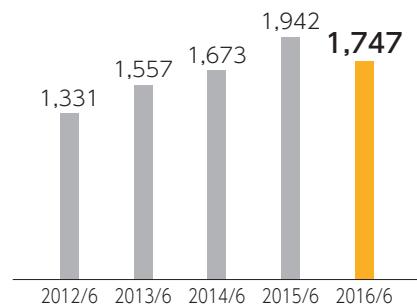
今後も、より透明性の高い企業運営を図るべく、一層の努力を重ねてまいります。

皆様には、今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

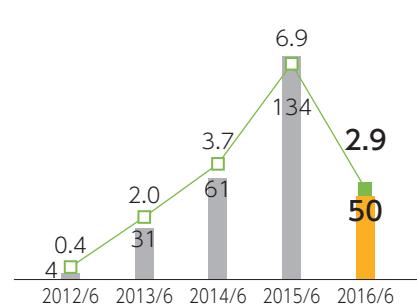
EHII: Energy, Healthcare, Industry, IoT (エネルギー、ヘルスケア、インダストリー、IoT)
IoT: Internet of Things (インターネット・オブ・シングス)

〔連結業績の概況〕

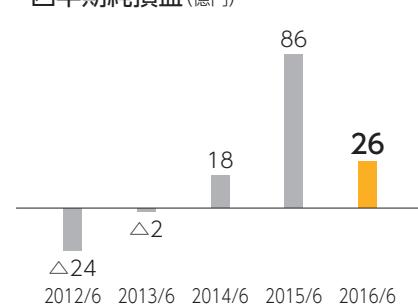
売上高(億円)



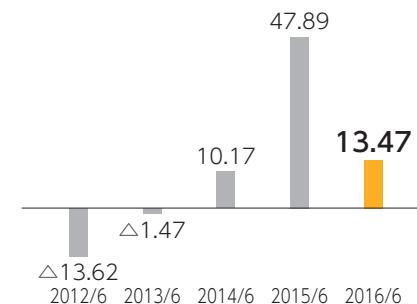
営業利益 営業利益率(億円/%)



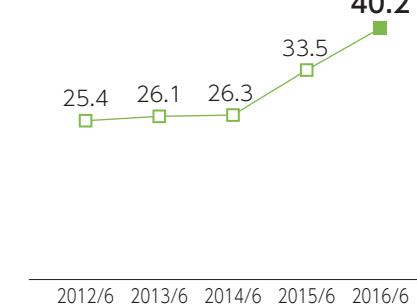
親会社株主に帰属する
四半期純損益(億円)



1株当たり四半期純損益(円)



自己資本比率(%)



通期の見通し

2017年3月期 業績予想	
売上高	7,570億円(前期比 △2.2%)
営業利益	465億円(前期比 △11.1%)
経常利益	460億円(前期比 △8.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	320億円(前期比 △18.0%)

※想定為替レート:米ドル/円 110・ユーロ/円 125

4月 April 2016年

天津アルプスでパソコン用ポイントニングデバイス「スティックポイント™」が生産累計5,000万台突破

16メガ対応で低背・低消費電力を実現した「オートフォーカス用カメラアクチュエータ バイダイレクションタイプ」新製品を量産開始

5月 May

駐アイルランド日本大使がアルプス・アイルランドを訪問

「人とくるまのテクノロジー展2016」[JECA FAIR 2016 第64回電設工業展]に出展

6月 June

生産基盤の維持・拡大と将来の事業拡大に向け、宮城県大崎市北原工業団地の工場用地を取得

小型、低消費電力タイプ「アンテナ付Bluetooth®通信モジュール」を開発・量産

米国での認知度向上、売上拡大を目指し、「Sensors Expo 2016」(カリフォルニア州)に出展

第83回定時株主総会を開催

7月 July

2016年度第1四半期決算を発表

第83回定時株主総会を開催

6月23日(木)10時より、本社ホールにて第83回定時株主総会を開催し、過去最多となる389人の株主の皆様にご来場頂きました。

総会では、映像により上場子会社のアルパイン(株)、(株)アルプス物流を含む当社グループの連結業績を報告。続いて、栗山社長から2016年度より3カ年の第8次中期経営計画方針・取り組みについて、また監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行の内容について説明をしました。

これらに対し、株主様からは、多数のご質問やご意見を頂き、栗山社長及び取締役から回答差し上げた後、全8議案とも賛成多数により、原案通り承認可決されました。

また、会場前スペースに設置した当社グループの製品展示、本社ビル内の歴史館「ALPS MUSEUM 未来工房」のご見学や、当社全役員が株主の皆様と直接対話させて頂く機会として、株主懇談会を開催しました。



株主総会会場入口の様子

新任取締役のご紹介

第83回定時株主総会において、新任取締役3名がそれぞれ選任されました。



取締役
きえき てつひろ
佐伯 哲博
1983年4月当社入社
2014年6月
営業本部
グローバル営業統括部長



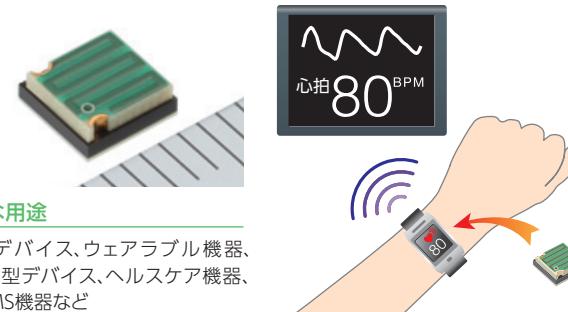
取締役
けが よういちろう
氣賀 洋一郎
1984年4月当社入社
2015年2月
経営企画室長



取締役
さとう ひろゆき
佐藤 浩行
1985年4月当社入社
2011年11月
アルプス・ノースアメリカ
社長

アンテナ付きで業界最小クラスと低消費電力*を実現

アンテナ付 Bluetooth® 通信モジュール



主な用途

IoTデバイス、ウェアラブル機器、ペン型デバイス、ヘルスケア機器、xEMS機器など

あらゆるモノがインターネットにつながるIoT市場では、様々な機器が登場してきました。IoT対応機器は、インターネットにつながるための通信モジュールが不可欠で、ウェアラブル機器などに使用される際には、小型で長時間駆動のための低消費電力が求められます。そこで当社が開発したのが本製品。当社独自のシミュレーション技術、高密度実装技術を駆使し、業界初のモジュール天面にアンテナを重ねた構造を実現。これによりアンテナ付きで、業界最小クラスの4.7mm×4.7mm×2.0mmを達成しました。また、消費電力5.1mA(スリープ時0.6μA)も業界トップクラスの低消費電力です。 ※2016年5月当社調べ

アルプス電気の
広告紹介
vol.2

Sensing 編

ものづくりにかける思いを
広告にしました。
前号の「HMI」編に続き、
「Sensing」編をご紹介します。



2016年2月2日 日本経済新聞掲載

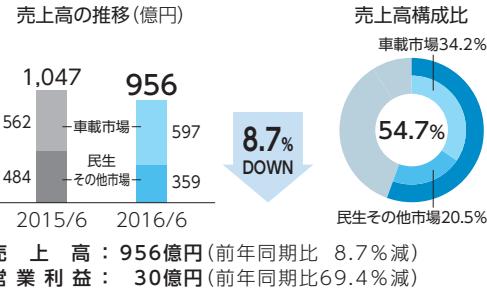
そのぬくもりや、ときめきや、やすらぎを、電子部品も一緒に感じていたい。

センサは千差万別。社内にそんな冗談があるくらい、私たちが作るセンサはバラエティに富んでいます。温湿度、気圧、位置、加速度、光、電流、磁気など様々なものの微細な変化を正確に検知。人の体や心の状態までも、まるで母親がわが子を気遣うような繊細さで感じ取ることも、もう夢ではありません。スマホやクルマや家電品の中で。更には医療・介護、農業、インフラなどの領域で。センサはもっともっと人に寄り添って、みんなの便利や快適や安心を見守りたいと思うのです。

電子部品事業

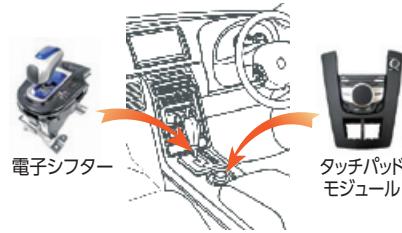


車載製品が堅調に進捗するも、スマートフォン向けは軟調
車載向け入力モジュール及び通信モジュールが堅調に進捗し、スマートフォン向けはコンポーネント製品が軟調に推移。IoT市場に向け、ネットワーク関連企業との協業等を積極的に展開しましたが、前年同期比で減収減益となりました。



車載市場 自動車の電子化が進む中で堅調に推移

ADAS(先進運転支援システム)やエコカーなどの開発の活発化に伴い、自動車の電子化が進む中、電子シフターや操作入力モジュール、通信モジュールなど、全般にわたり堅調に推移しました。



民生その他市場 カメラ用アクチュエータは当社の優位性を維持

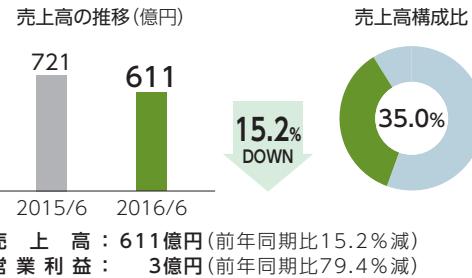
スマートフォンの高機能化を進める中国メーカーに、高速オートフォーカス機能のカメラ用アクチュエータを拡販しました。一部主要メーカーのスマートフォンは、市況変化により軟調となったものの、当社カメラ用アクチュエータはNumber 1シェアの供給を維持しました。



車載情報機器事業



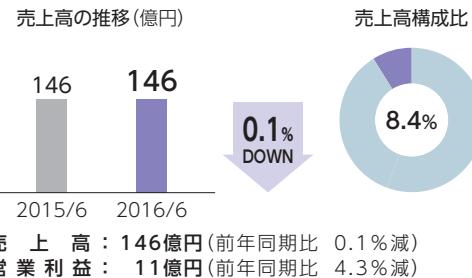
為替変動の影響大きく厳しい状況で推移
アルパイン(株)(東証一部)では、中国モーターショーへの出展や、国内外の市販市場に新製品を投入して拡販活動を行いました。更に安全運転支援システムを国内自動車メーカーと共同開発し成長戦略にも注力しましたが、為替の影響を受け厳しい状況で推移しました。



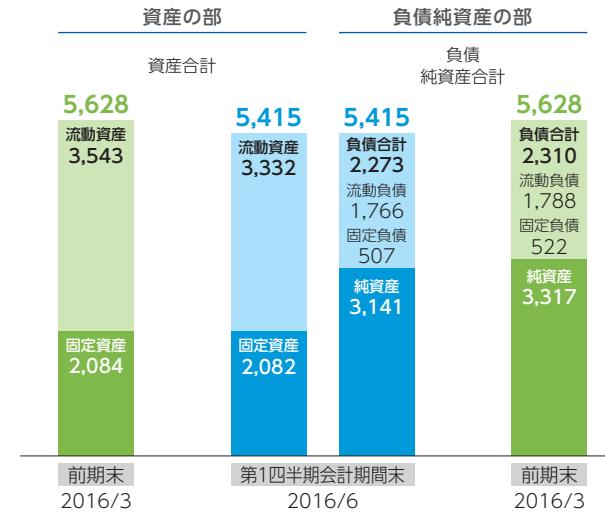
物流事業



フィリピンに駐在員事務所を設立
(株)アルプス物流(東証二部)では、新規拡販や原価低減などを推進。重点戦略地域のフィリピンに駐在員事務所を設立してグローバルネットワークの拡充を図り、国内外が一体となった提案営業の推進に加え、運送・保管・輸出入各事業の生産性向上に取り組みました。



連結貸借対照表の概要(億円)



ポイント

- 流動資産**
流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比べ210億円減少の3,332億円となりました。
- 固定資産**
固定資産は、建物及び構築物、投資有価証券、出資金の減少と、繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ2億円減少の2,082億円となりました。
- 負債合計**
流動負債は、賞与引当金、未払法人税等の減少と、支払手形及び買掛金、未払費用の増加等により、前連結会計年度末と比べ21億円減少の1,766億円となりました。
固定負債は、退職給付に係る負債、繰延税金負債及び長期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べ15億円減少の507億円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移(億円)

※内訳には連結消去を含んでおりません。

